

問 土地活用の方針は

答 段階的な整備に向け 検討を進める



議員 山崎 泰昌 (政和会)



利活用が望まれる田の浜地区低地部

問 田の浜地区の緑地公園の活用方針は。
佐藤町長 「公園」「住民向け農地」、「水産業関連の産地」、「その他の産

業地」に区分し活用を図るが、費用や周辺工事を考慮し、実施時期の検討を進める。

問 今年の荒神海水浴場は5600人を超える人でにぎわったようだが駐車場が足らず、船揚げ場に駐車する人が多く見られた。地元住民とのトラブルの原因になると懸念するが。
野口水産商工課長 4年度は漁協前を借りて駐車場不足を解消していく。

問 漁協前の道路は工事のために補修も補強もままならないが、県と町のどちらが整備するのか。
水産商工課長 県と協議をしながら対応を検討していきたい。

問 B & G 体育館付近に安心して横断できるための施策が必要では。
佐々木建設課長 基本的には横断歩道の設置を求めたいが、警戒標識や路面標示、カラー舗装などの方法もあるので、どの方法がいいのか警察と相談した上で対策する。

問 町主体の水産施策を

答 水産施策の変革の時期である

問 漁業者の意見、要望をくみ上げることも大事であるが、町が事業を立案し、漁業者に協力を求める事業があっても良いのでは。
町長 磯焼け対策への取り組みなど事業化を目指す構想を持っており、引き続き漁協と連携し取り組む。

問 大植町では町が主体となってウニの陸上養殖を行っている。良い施策だと感じている。本町も取り組むべきでは。
甲斐谷副町長 ウニの畜

養は有望な事業だと考える。町が主体となることは検討すべきものと考えている。県にも研究や指導をお願いしていく。

問 定置網漁業は待つて捕獲する漁法のため自然に左右される。町としていろいろな施策を立案し施行するために、水産専門員を配置すべきでは。
副町長 水産業の振興のためには必要だとの声があるが、現在は適任者がいないのが現実である。検討させてもらう。

問 新型コロナ 感染者増加への対応は

答 病床や宿泊療養施設を追加し 自宅療養はさせない方針

問 入院対応する医療施設が増やされたと聞いたが事実か。今後、宿泊療養や自宅療養も想定されるが対応は。
町長 県の当初の計画から医療機関や病床は増やされたとのことであるが、医療機関名や地域は非公表となっている。入

院受入態勢を強化しており、感染者が増えても宿泊療養施設を追加稼働させ、自宅療養はさせない方針と聞いている。